

仁和寺にある法師

氏名

本文の意味

仁和寺にある法師、年寄るまで石清水を拝まざりければ、心憂く覚えて、あるとき思ひたちて、ただ一人、徒歩より詣でけり。極楽寺、高良などを拝みて、かばかりと心得て歸りにけり。さて、かたへの人にあひて、「年ごろ思ひつること、果たしはべりぬ。聞きしにも過ぎて、尊くこそおはしけれ。そも、参りたる人ごとに山へ登りしは、何ごとかありけん、ゆかしかりしかど、神へ参るこそ本意なれと思ひて、山までは見ず。」とぞ言ひける。少しのことにも、先達はあらまほしきことなり。(第五十二段)

「仁和寺の法師」の人柄を想像しよう。

人

「かたへの人」に話した内容を二つに分けてみよう。

前半の内容

後半の内容

仁和寺からの道のりを図式で示そう。

仁和寺

石清水八幡宮

「少しのことにも先達はあらまほし」といもうの兼好法師が結んでい

←

←

←

←

←